

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第28週（令和7年7月7日～令和7年7月13日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

夏休みに入り、大人数で集まる機会や不特定多数との接触が多くなる時期です。手洗いや咳エチケット、換気等の基本的な感染対策を心がけましょう。また、海外旅行の際は、渡航先での感染症の発生状況や適切な予防対策を事前に確認しておきましょう。詳しくは、福岡県ホームページ「海外旅行に行くときは感染症に注意しましょう」をご覧ください。➤➤



■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	11	388	239	7,020
腸管出血性大腸菌感染症	15	95	91	1,027
E型肝炎	1	3	12	314
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1	3	6	99
レジオネラ症	2	34	45	1,125
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	48	13	707
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	43	14	800
後天性免疫不全症候群	1	21	14	424
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	18	6	410
侵襲性肺炎球菌感染症	3	96	33	2,316
水痘（入院例）	1	17	12	358
梅毒	4	406	199	7,167
百日咳	97	1,942	3,578	43,728

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル（※）

：注意報レベル（※）

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	409	3.35	1.53	7,615	1.97
インフルエンザ	38	0.31	1.65	1,095	0.28
急性呼吸器感染症	5,267	43.17	1.02	203,039	52.71
RSウイルス感染症	51	0.73	1.19	821	0.35
咽頭結膜熱	44	0.63	0.67	1,580	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	210	3.00	1.00	5,565	2.36
感染性胃腸炎	394	5.63	0.82	12,819	5.44
水痘	42	0.60	1.45	934	0.40
手足口病	38	0.54	0.76	1,215	0.52
伝染性紅斑（警報レベル）	208	2.97	0.86	5,474	2.32
突発性発しん	32	0.46	1.45	880	0.37
ヘルパンギーナ（警報レベル）	343	4.90	0.75	3,451	1.46
流行性耳下腺炎	4	0.06	0.80	179	0.08
急性出血性結膜炎	0	0.00	—	16	0.02
流行性角結膜炎	10	0.38	1.67	629	0.90
細菌性髄膜炎	0	0.00	—	9	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	32	0.07
マイコプラズマ肺炎	5	0.33	0.83	360	0.75
クラミジア肺炎	0	0.00	—	3	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	0.00	16	0.03

（※）令和7年第15週からの定点医療機関の減少等に伴い、従前の警報及び注意報の基準値を直ちに当てはめることはできません。そのため、国が警報及び注意報の取扱いを検討することとしています。取扱いが示されるまでの間、本県では従前の基準値で運用することとします。